

優先度	
A	事業採択の考え方に基づき、事業の必要性が高く、令和4年度に実施する事業・・・（採択）
A B	事業採択の考え方に基づき、事業の必要性は高いが、必要性や緊急度等を精査の結果、他の優先度Aの事業に比べると令和4年度に実施する必要性が低いと考えられる事業（令和5年度以降に実施）・・・（実施年度を先送りした採択）
B	事業採択の考え方に基づき、事業の必要性はあるが、次期実施計画で再検討とする事業
C	事業の必要性が低い、若しくはないと考えられる事業・・・（不採択）
—	令和3年度予算で実施することとした事業

◆優先度別事業数及び査定事業費（第4回査定）◆  
（一般会計）

優先度	事業数	第4回査定事業費			合計
		一般財源 【うち特別会計等への繰出金等】	地方債 (市債)	その他 (補助金等)	
A	168	6億4,040万円 【1億837万円】	48億8,910万円	33億1,343万円	88億4,292万円
A B	13	-	-	-	1億2,430万円
B	4	-	-	-	2,868万円
C	0	-	-	-	0円
—	2	-	-	-	215万円

※金額の端数を四捨五入しているため、表中の合計が合わないことがあります。  
※A以外の合計は、要求事業費で計算しています。

（特別会計等）

優先度	事業数	第4回査定事業費			合計
		一般財源 【うち一般会計からの繰入金等】	地方債 (市債)	その他 (受益者負担等)	
A	12	1億837万円 【1億837万円】	7億4,190万円	4億6,584万円	13億1,611万円
A B	3	-	-	-	4,570万円
B	2	-	-	-	3,100万円
C	0	-	-	-	0円
—	0	-	-	-	0円

※金額の端数を四捨五入しているため、表中の合計が合わないことがあります。  
※A以外の合計は、要求事業費で計算しています。